

■亀井茲矩 武將。小大名ながら、気宇壮大で、殖産政策に手腕を發揮、最後には、自ら南蛮貿易を指揮した。

かめいこれのり

・・・・・・1557＝ 出雲国意宇郡玉造村で、湯佐永綱の子に生まれる。

桶狭間の戦・1560＝ 3歳：

・・・・・・1566＝ 9歳：この年、尼子氏家臣亀井秀綱が討死、尼子家久も毛利元就に敗れ、月山城を明渡して滅亡すると、山中幸盛が叔父とともに、京都に隠れていた尼子勝久を奉じ、

織田信長入京1568＝11歳：

京都宣教許可1569＝12歳：この年、出雲に入って月山城に迫り、父が討死し、旧臣のもとで育てられていたが、

三方原の戦・1572＝15歳：

室町幕府滅亡1573＝16歳：山中幸盛が山名豊国を救うため、尼子勝久を奉じて、国府の甕山に築城したのを聞くと、馳せ参じて部下となる。反臣武田高信を降伏させた幸盛が豊国を鳥取城主とすると、かねて好みを通じる矢部行綱が変心、

長島一揆鎮圧1574＝17歳：謀略をもって幸盛を招いた際、代理となって訪問、変心を確認するや、行綱とその家臣らを斬殺して戻り、幸盛に見込まれて、その養女と結婚、亀井氏を継いで、亀井茲矩と名乗る。

長篠の戦・1575＝18歳：

上杉謙信没・1578＝21歳：この年、吉川元春・小早川隆家の大軍に攻撃された尼子勝久が自刃、幸盛も討死。

石山合戦終・1580＝23歳：鳥取城攻めに際し、**豊臣秀吉の武將として鹿野城を攻略**、

パリヤーノ謁見 1581＝24歳：2回目の鳥取城攻めでは、これを落城させ、その功を秀吉が信長に上申し、出雲国を与える朱印状を授けられ、白銀300枚、鞍馬1匹を贈られ、**\*因幡国気多郡を与えられ、鹿野城主に任じられる。**

本能寺の変・1582＝25歳：**\*高松城を水攻め中に本能寺の変が起きて京都に引き返すことになった秀吉から、出雲国は無理なので、ほかに望む地はと問われ、琉球と答えると、羽柴筑前守・亀井琉球守殿と自署した金の団扇を授けられる。**

長久手の戦・1584＝27歳：

豊臣秀吉関白1585＝28歳：従五位下、武蔵守に叙される。

1587＝30歳：九州征伐に従軍、

刀狩海賊取締1588＝31歳：日光池の干拓をして、300石を得、

秀吉全国統一1590＝33歳：小田原の役に従軍した。

文禄の役・1592＝35歳：**文禄の役に際し、琉球遠征を願い出るも許されず、水軍を率いて朝鮮各地を転戦。**

方広寺大仏殿1593＝36歳：

関白秀次事件1595＝38歳：秀吉の命により伯耆国日野山に銀山を経営、湖山池の干拓、大井手用水の開設など産業振興に努め、

関ヶ原の戦・1600＝43歳：**関ヶ原の戦で、東軍に属して、高草郡を与えられると、**

東本願寺創建1602＝45歳：

**干拓や水路整備によって、1500町歩の水田を得るなど、短い間に、数千石増加させるほど、新田開発。**

また、良質の薩摩杉の苗木を取寄せて鷲峰山一帯に植林、のち、大木として切り出される。

家康駿府退隠1607＝50歳：**\*西洋(西南太平洋諸国)行の朱印状を得ると、家臣を船長、領内若者を船子に、長崎からシャムに派遣、**

・・・・・・1608＝51歳：**家督を譲って、隠居後も、**

島津琉球支配1609＝52歳：**シャム行の朱印状を得、**

琉球使始・1610＝53歳：**続けて、シャム行の朱印状を得、京・堺で刀や美術品を入手して輸出し、諸織物・諸香料・毛皮・象牙から、生きた驢馬・野牛まで輸入する、本格的な海外貿易を行うが、**

山田長政渡航1611＝54歳：

キリシ教禁止・1612＝55歳：**\*鹿野城中で、病没した。**